



10月のエコ活動



宅配便再配達防止への取り組み

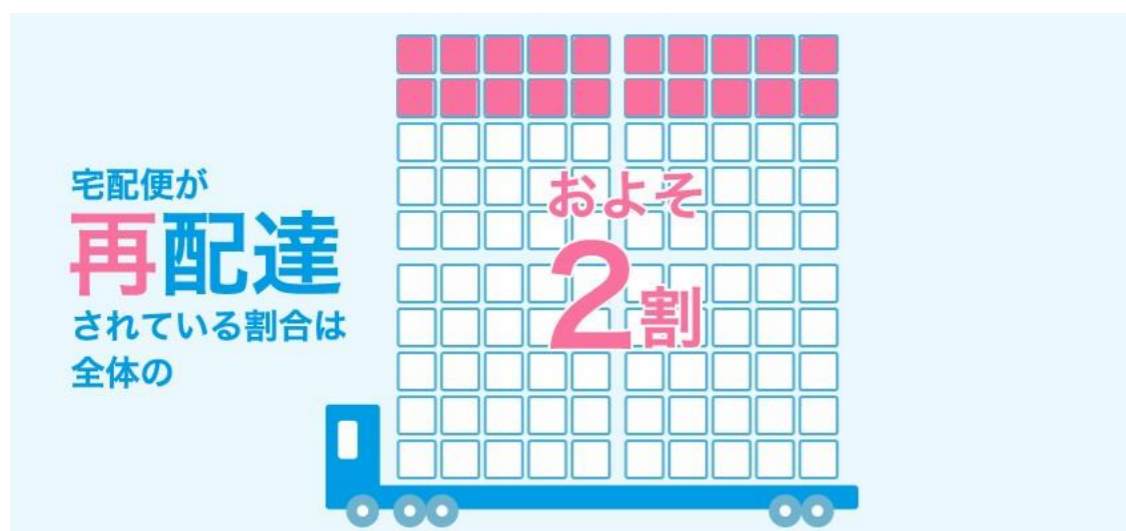
COOL CHOICE
できるだけ1回で受け取り
ませんかキャンペーン



～みんなで宅配便再配達防止に取り組むプロジェクト～



ご存知ですか？
～2割の荷物が再配達！？～



宅配便の再配達により消費されている労働力は1.8億時間

これは例えるなら…

10人のうち1人のドライバーは、1日中再配達を担当している計算になります。



再配達のトラックから排出されるCO₂はおよそ42万トン

山手線内側の面積2.5倍の杉林が年間で吸収する二酸化炭素量に相当



YAMANOTE

※出典：宅配の再配達の削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会 報告書（平成27年9月 国土交通省）

再配達になった理由として最も多かったのは「配達に来るのを知らなかった」が4割でした。※

限られた資源を守るために、
いろいろな取り組みが行われてい
ます。

そして、その時代の環境に合わ
せた取り組みが必要なのだと痛
感させられます。

毎回感じるのですが、私たちに
何ができるのかしっかり考えてい
きましょう！

送るときにできること

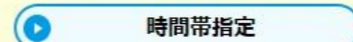
- ①相手に事前に伝える
- ②相手の受け取りやすい日時を確認する

再配達になった荷物の70%強が時間指定をしておらず、また約3/4の荷物は通信販売で自ら購入した商品でした。※

注文するときにできること

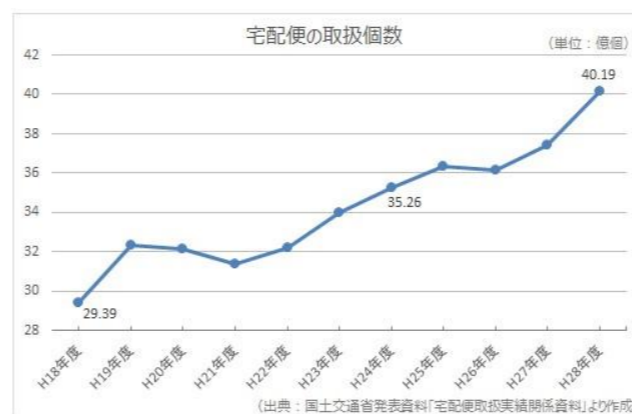
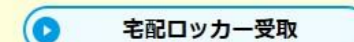
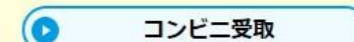
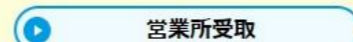
①受け取る時間帯を指定

あらかじめ受け取れる時間に時間帯指定を行うことで、自分が受け取ることのできる時間に荷物を届けてもらい、できるだけ1回で受け取る。



①受け取る場所を指定

ご自宅の近くや通勤経路などに受け取れる場所がある場合にはあらかじめ受け取り場所を、宅配事業者の営業所やコンビニエンスストアなどの受け取りが可能な場所を指定することで、できるだけ1回で受け取る。



緑化運動進行中



宅配便は30年前に大和運輸で「宅急便」として開始。初日の取扱い個数は2個。その後1980年代に急激に増加、進展をし、各種サービスメニューが開発される。ドア・ツードア等の使い勝手の良いサービス、ネットショッピングの促進などが進展の要因であるということ。
ちなみに、取扱い総数はH15年度が28億個、それから12年後のH27年度は37億個。
単純に計算して1日当たり1千万個がどこかに配達されているということです。すごいですね。